

シリーズ
 仏教語豆辞典
 第26回

老婆心 (ろうばしん)



日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。
 なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。

「老婆心ながら」とことわって、一言つけ加えたり、忠告したりする場面に出くわすことがよくあります。
 言わずもがなでしょうが、とか、おせっかいとは思いますが、という意味なのでしょう。



老婆心とは、「老婆心切」とか「親切心」とか言って、禅宗ではよく使われる言葉で、老婆が子どもや孫を愛撫し、いつくしむように、師匠が修行者に対して、あたたかく導くこと。その心が深く厚いことを意味する仏教語でした。
 それが、度を越して、必要以上に世話をやこうとする気持ちを表す言葉となったようです。



『仏教故事名言辞典』に
 という名言が載っていました。
げんぼう
 臨済宗の山本玄峰師が提唱した「三つのしんせつ」です。

「人に親切・自分に辛切・法に深切」

他人には思いやりをもって接し、自分には厳しく、法には深く従う態度を教えたものといわれています。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



今月の予定



2026年 3月

日	月	火	水	木	金	土
1 7:00日曜礼拝 ●	2	3	4	5	6	7 10:00納骨堂合同法要 13:30グランドゴルフ
8 7:00日曜礼拝 ●	9	10	11	12	13 【講師】 中村啓誠師 (広島県)	14
15 7:00日曜礼拝 ●	16	17	18	19 	20春分の日 10:30やすらぎ堂春彼岸法要 13:30天真寺春彼岸法要 ●	21 13:30グランドゴルフ
22 7:00日曜礼拝 ●	23	24	25	26	27 ※ 役員さんには12:30にご集合 をお願いいたします	28
29 7:00日曜礼拝 ●	30	31				<来月の予定> 4月20日法話会

● 印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから
 → <http://www.koumyou.net/tenshin>



2/15(日) 松戸市の活動に協力をして、お寺でこども食堂を開催しました。多くの子供たちが喜んでくれました。

お寺の行事は
 このQRコードから
 オンライン参加
 できます



天ちゃんの一言

- ご報告～前坊守の49日法要を無事終わりました
 門信徒会の役員の方にもご列席をいただき、2月4日 前坊守の49日法要を無事営むことができました。お世話になった方々には改めて深く御礼申し上げます。ありがとうございました。
- 現在「大町やすらぎパーク」に数区空きがあります。ご希望の方はお寺までご相談ください
 天真寺が管理する永代合葬墓があります「やすらぎ堂」(松戸大町)・「あんのん堂」(京都)
- 「天真寺門信徒会」 仏さまのお話を聞き、お念仏申す豊かな人生をともに歩みましょう
 毎月寺報と仏教冊子を送付し、法要や法話会のご案内をしています。
 お寺の行事はすべて参加自由です。仏さまのみ教えを聞いて、確かな人生の
 拠りどころを見つけませんか。
 年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています「天真寺通信」tenshin.or.jp/

入会随時募集
門信徒会
 に入りませんか



お寺の掲示板の言葉

日常の五心

- 「はい」という素直な心
- 「すみません」という反省の心
- 「私があります」という奉仕の心
- 「おかげさま」という謙虚な心
- 「ありがとう」という感謝

浄土真宗
 本願寺派

天真寺

〒270-2251
 千葉県松戸市金ケ作106
 TEL 047-389-0808
 FAX 047-389-0809

www.tenshin.or.jp



春彼岸法要

【日時】 3月20日 (春分の日・金) 午後1時半～3時半

【次第】 おつとめ「正信偈」、法話(60分1席)、茶話会

【講師】 なかむら けいじょう 中村 啓誠師 (本願寺派布教使・広島県光乗寺)

有難い4年連続の御出座も今年で最後となりました。先生の慈しみ溢れる仏さまのお話をぜひお聞きましょう。

【場所】 天真寺本堂 (椅子席)



どなたさまも自由にご参加いただけます 初めての方もぜひどうぞ。
予約・申込不要、直接お寺にお越しください。皆さまのご参拝をお待ちしております。

天真寺永代合葬墓「やすらぎ堂」春彼岸法要



【日時】 3月20日(金・春分の日) 午前10時半～11時

【場所】 大町やすらぎパーク内「やすらぎ堂」前
(アクセス:松戸市串崎新田170-3 北総線「大町駅」から徒歩3分)



天真寺納骨堂 月例合同法要

【日時】 3月7日(土) 午前10時～10時半

【場所】 天真寺 納骨堂 (2階)

※ 毎月第1土曜日に合同参拝をつとめています。いつでもご自由にお参りください。



春彼岸に寄せて

芽吹き季節の到来です。春のあたたかな日差しが降り注ぐと、植物は芽を出し、固い蕾は徐々にほころび、一斉に色とりどりの美しい花を咲かせます。植物の変化には、いのちの躍動を感じ感動します。しかしそれに比べて私の心はというと、いつまでも固く閉じたままです。自己中心の考えから離れられず、人の意見を聞く柔らかさも、人を許す広さも持ち合わせていません。好き嫌いや、善し悪しも、すべて自分のものさしです。

植物にとっての春の日差しは、たとえるなら私にはたらきかけてくださる仏さまのお心です。「あなたを必ず救う」とはたらき続けてくださる仏さまの真実の慈しみに出遇ってはじめて、私たちは自分の頑な心のありさまを知らされます。そして、仏さまのあたたかさによって、私の心も春の雪解けのように少しずつ少しずつほぐれていくのです。

仏さまはいつでもどこでも、私と一緒にいます。「一人ではない」という安心感は、私を強く優しくします。花がその美しさで人を喜ばせるように、私たちも「和顔愛語(わけんあいご)」。お彼岸には笑顔と優しい言葉を心がけてみましょう。私でもどなたかを喜ばせることができるかもしれません。合掌



ひとくち法話「どうか安心して～仏さまのメッセージ」

天真寺副住職 西原 龍哉

にぎやかな年越し

ここ10年くらいはお役を拝命し、築地本願寺の「除夜のつどい」という法要に参加しています。除夜の鐘をついたり、ホットミルクの配布、パイプオルガンの演奏や焚火とイベントが多く、たくさんの幅広い年代の方々が集まるにぎやかな法要です。



私は友人僧侶と本堂で開催されるイベントを任されています。題して「僧侶なんでも相談～僧侶にいろいろ聞いてみよう～」。普段仏教と縁のない方にも少しでも仏さまの話を身近に感じてほしいと、私たち僧侶がどんな質問にも即答するというイベントです。

僧侶なんでも相談

午後11時、満堂の本堂を会場にさあスタートです。「お坊さんに聞いてみたいことはありますか?」と問いかけると、次々と手が上がります。



「社会人一年目ですが会社では理不尽なことばかり。どう対処したらいいの?」「気に入ったものをボロボロになっても使い続けてしまう。ものへの執着をやめたい」「好きだった人にももらった物が捨てられない。物を捨てて未練を断ち切りたい」「人に恨みをもっている。仏さまの教えでは人を許すということをどう教えているのか」。以上のような質問が出ました。仏さまの前だからでしょうか。皆さん心を開き、他人には言いたくないであろう悩みも尋ねてください。

阿弥陀さまに許されている私

「思い通りにならないことが当たり前くらいに考えるほうが楽ですよ」「執着は振り回されたら苦しみになるけれど、一つのことを大切にすることは大事にしてほしい」「今ほとことん自分の気持ちに向き合ってみてはどうか。きっと時が来れば人でも物でも離れる時は来ますよ」「許せない人とはなるべく会わないしかない。しかし、私が阿弥陀という仏さまに許されている存在だということを知ってほしい。私の罪もすべてをご存知の上で許してくださっている。そんな私が他人を裁けるのかと考えると、せめて人を裁かない者になりたいと思う」

もちろんすべての質問に答えられるわけでも、解決できるわけでもありませんが、僧侶それぞれが皆さんの心に寄り添い、お釈迦さまのお言葉をヒントにすると、ものの見方が少し変わり心が楽になることもありますよということを伝えたいと心を砕きました。不十分なところもあったと思いますが、その場の皆さんで笑い合ったり共感し合ったりと始終和やかな時間でした。

悲しい時やつらい時は、「誰にもわかってもらえない」と孤独感を感じます。しかし、私たちは決して一人ではありません。「私はいつもあなたと一緒にいますよ、だから安心して生きてくださいね」。そんな仏さまからの力強いメッセージが一人でも多くの方の心に届くことを願って終えた尊い年末のご縁でした。



改修工事がはじまります 3月中旬～6月中旬を予定

3月中旬から、本堂・客殿・駐車場の改修工事が始まる予定です。(←写真は、正面駐車場の完成予定図)

春彼岸法要からしばらく正面駐車場は使用できませんので、裏の駐車場をご利用ください。工事終了までご迷惑をおかけいたしますが、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。